

第85回教育課程小委員会議事録（確定）

1 日時・場所

2022年5月30日 21:00-22:20 ZOOM会議

2 参加者

飯田和也、市川、岩田、川村、小林、瀧上、富樫、丹羽、根本、畠山、藤原、南島、宮嶋、矢島、
(地理) 井田 (オブザーバー) 阿部、今野

3 協議

(1) パブリックセッションの総括について（主な意見を抜粋）

○テーマ設定

- ・セッション提案にあたり、毎回、プログラム委員会からパブリックとしての妥当性を問われるが、プログラム委員長の理解に依るところが大きい。事務局や教育検討委員会委員長が背景を説明してくれ、採択に漕ぎつけている。セッション提案時には、市民との対話を目的にすることをアピールしたが、実際に参加された方々の顔ぶれには、一般市民等の参加者はほとんどおらず、広報に課題を残した。

○当日の運営

- ・オンラインとリアル両方に座長を置いたのが奏功して、スムーズに運営できていたと思う（座長が一人だとうまく行っていないセッションもあった）。
- ・現地の参加者が、pptの絵しか見えなかった。現地でもZoomの画面が見えた方がよい。
- ・会場の入口に掲示がないので、何をやっているのかが分からなかった。パブリックとしては、中に入れてもらうためにそういった表示が欲しい。来年度には要望が必要。

○当日の状況

- ・オンラインで常時約30名、現地で常時約20名、最大約60名程度にて、平均すると合計50名程度の参加者数で推移し、参加者の所属は様々だった。
- ・参加者の多くはリピーターだったが、初めて参加した学生がおり、その後Slackへの加入につながった。

○講演の実際

- ・地理と地学でお互いの内容を知ることができたのは有益だった。
- ・地理も地学も、用語や内容について教科書による扱い方の差が大きいことが判った。

(2) セッションを受けた議論と今後の活動について

○小中学校教科書の用語・内容のバラツキに関して

- ・地理では、教科書会社により、指導要領に忠実に沿ったものとそうでないもの（現状維持）があった。現場の教員にとっては現状維持のものが売れている傾向があった。
- ・地理では小中学校で教科書の作り方がかなり違う。小学校は編集が主導して作成するが、中高だと現場や研究者の人が書く傾向が大きい。大きく内容を変えた会社は売れにくい。
- ・小学校地理の方が教科書の内容のバラつきが大きい。これは、下記の小学校学習指導要領「社会科」の事情による。

(例) 第4学年 2 内容(3)および内容の取り扱い

『自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。』

『内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。ア アの(ア)については、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの中から、過去に県内で発生したものを選択して取り上げること。』

実際の授業ではこれらの自然災害を全部取り上げる必要は必ずしも無いが、選択して記している教科書もあれば網羅的に記している教科書もある。前者の場合は選択した内容が、例えば地震災害と風水害とを取り上げている教科書もあれば津波災害と火山災害とを取り上げている教科書もあるといった状況となっている。

- ・教科書の内容がバラバラだと、高校入試で使ってくれなくなるのではないかと、ミニマムとして扱うものはあってもいいのではないかと？
- ・各教科書の個性としてバラバラでも良いという考え方もあるのではないかと？
- ・各教科書のバラつきに関して、教科書会社と情報交換をした上で、学習指導要領に対する意見を述べていった方がよいのではないかと？
- ・地理、地学の関係者が一堂に会して教科書会社の内容を聞いた方がよい。

○地理と地学の内容の棲み分けについて

- ・お互いの学習指導要領を知ることが、議論の最初ではないか？
- ・科目再編の話をする際には、小中学校と高校とで議論を切り分けた方が良い。
- ・高校では地理総合と地学基礎とを合わせ+ α （環境や資源等）を加えた新教科の新設も視野に入れて考えた方が良いのではないかな。
- ・小中学校では、これまで通り、理科および社会科の中で考えていけば良い。
- ・社会科の選択制について、小学校はやる内容が多くなったので分けるようになった。教科書会社は営業的な要因で全部載せたがる。そうすると現場の教員はやらなければいけないという意識になってしまう。
- ・小学校の専科制は、専門として科目を教えることになるのかどうか怪しい。

○次年度パブリックセッションのテーマについて（現時点で出されたもの）

- ・高校地理・地学の基礎的な教科書の内容
- ・GIGAスクールのその後
- ・さまざまな省庁が行なっている未来の教室などとの連携

(3) 今後の活動に向けた確認事項

- ・地理及び地学の教科書について教科書会社との意見交換を行う
- ・地理と地学の科目再編について検討する場合は高校分野のみ
- ・パブリックセッションのテーマは継続して考える
- ・小委員会に参加する地理選出の委員について改めて選出をお願いする

4 次回小委員会

時期 7月中旬を目途に調整を行う

内容 今後の活動についての具体的な進め方について